

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健学 I (理学療法学科・作業療法学科)		選択	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 典子	B312	noriko.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 精神保健の基本的な考え方と、それに関連する人間の心理行動面の特徴を理解し、現代社会における精神保健の諸問題にも関心を持ち、精神保健福祉士の役割を理解することを目的とする。</p> <p><概要> 支援の対象者が多世代にわたることを理解できるように、ライフステージや家族、学校、勤労者がかかえる精神保健の課題と支援方法について講義を実施する。</p>				
学習上の助言	精神保健が抱える諸問題が多岐にわたることから、関連のあるニュースや記事、事例に関心を持ち理解を深めて欲しい。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 2 現在の精神保健の課題と支援/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神障害をもつ人が直面しやすい困難と困難からの回復について理解し説明ができる。			HSU(1)、(2)、(6)、WP(1)	
②	医療や福祉など、精神保健活動が必要とされる領域や場について理解し説明ができる。			HSU(2)、(4)、WP(2)、(5)	
③	精神保健福祉における法律、制度の変遷について理解し説明ができる。			HSU(2)、WP(5)	
④	家族に関する課題と支援について考察でき、支援の方向を理解し説明ができる。			HSU(2)、(4)、(5)、WP(2)、(3)	
⑤	国家試験の問題を確実に解答することができる。			HSU(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義概要・講義の進め方・評価方法等)「健康」とは何かについて考える。	登校型授業 講義	「健康」とは何かまとめてくる。	4	
2	【第 1 章 精神保健の概要】ライフサイクルと精神保健、生活習慣病と精神の健康を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
3	【第 2 章 現在の精神保健分野の動向と基本的な考え方】精神保健の動向と基本的な考え方を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
4	心的態度や生活と嗜癖について学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
5	【第 3 章 家族に関連する精神保健の課題と支援】家庭内暴力、出産育児をめぐる精神保健について学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
6	介護、引きこもり等家族の課題を学び理解する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
7	家族関係の課題を理解し、グリーンケアについて学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
8	【第 4 章 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ】学校教育における精神保健的課題を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
9	教員の精神保健、関与する専門職と関係法規を学ぶ。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
10	スクールソーシャルワーカーの役割と学校精神保健にかかわる社会資源を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
11	第 1 章から第 4 章までの振り返り・理解を深める。	登校型授業 講義	事前課題に取り組む	4	
12	事例を通じて精神保健を考える。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
13	【第 5 章 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ】労働環境や産業精神保健とその対策を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
14	職場のメンタルヘルスを学び、問題を解決するための機関、関係法規を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。	4	
15	講義全体のまとめと試験対策及び意見交換を実施する。	登校型授業 講義	わからない部分を明確にし、資料をすべてまとめておく。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施する。試験内容は、講義で説明した内容やレジメから、学生が達成すべき行動目標に示した部分の理解度を問う問題を出題する。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> 登校型授業で実施するが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって Teams を使った同時双方向型授業を行うこともあり得る。 Teams を使った同時双方向型授業の場合は、通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨する。 精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めません。 <p>教員の実務経験：精神保健福祉士を平成 18 年に取得後、ソーシャルワーカーとして 15 年の実務経験。</p> <p>実践的授業の内容：学生が身近に感じている精神保健を共有しながら、現代における諸問題を事例やニュースなどを活用し、おり実践的な授業を行う。</p>							